

指定管理者評価結果について

1. 総括評価（5段階評価）

施設種別	施設名	頁
①スポーツ施設	大分スポーツ公園、高尾山自然公園、大分県立武道スポーツセンター	1
	大分県立庄内屋内競技場	1
③港湾施設・公営住宅	別府港機械管理駐車場・県営3号上屋・石垣地区緑地	2
	大分港大在コンテナターミナル	3
④文化・コンベンション施設	大分県立別府コンベンションセンター	4
⑥レクリエーション施設	大分県長者原園地	5
	大分県青少年の森、大分県平成森林公園、大分県神角寺展望の丘	5

2. 中間評価（5段階評価）

施設種別	施設名	頁
③港湾施設・公営住宅	県営住宅等	6

3. 年次評価（所見評価）

施設種別	施設名	頁
①スポーツ施設	大分県リバーパーク犬飼	7
	大洲総合運動公園、大分県立フェンシング場	7
②農林業振興施設	大分農業文化公園、大分県都市農村交流研修館	8
	大分県林業研修所	9
③港湾施設・公営住宅	別府港北浜ヨットハーバー	9
④文化・コンベンション施設	大分県立総合文化センター、大分県立美術館	10
⑤社会福祉施設	大分県社会福祉介護研修センター	11
	大分県母子・父子福祉センター	12
	大分県聴覚障害者センター	13
	大分県身体障害者福祉センター	13
⑥レクリエーション施設	おおいた動物愛護センタードッグラン・多目的広場	14
	ハーモニーパーク	14

4. その他（全施設にかかる意見）

施設種別	施設名	頁
全施設	全施設	15

令和5年度 指定管理者の管理運営に対する指定管理者評価部会の評価

1 総括評価(5段階評価(指定期間最終年度))

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価段階	評価項目(得点/配点)							合計 得点	評価 ランク
				所管課 評価	目標指標等 設置目的の達成	利用者の 満足度	定性的な目標 の達成	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等連携	平等利用 安全・危機管理		
評価結果及び指定管理者評価部会の意見													
① スポーツ 施設	大分スポーツ公園 高尾山自然公園 大分県立武道スポーツセンター (H31.4.1~R6.3.31)	土木建築部 教育庁	(株)大宣	所管課評価	16/25	10/15		9/15	12/15	9/15	15/15	71	C
				部会評価	16/25	10/15		9/15	12/15	9/15	15/15	71	C
<p>【評価】</p> <p>1. 芝管理業務を第三者委託しているが、長年の交渉で契約方法を見直し（長期の契約へと見直し）することで、年間165万円の経費節減を実現したことは高く評価できる。模範となる取り組みで、他の指定管理者に共有すべき事例。</p> <p>【意見】</p> <p>1. Twitter等で情報発信しているが、広がりを感じられない。闇雲に発信するのではなく、戦略的にアプローチすることでフォロワーを獲得してほしい。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. X (Twitter) については、1ポストあたりの閲覧数が1万5千から2万あり、3万を超える投稿がある。レゾナックドーム大分をホームタウンに活動しているJ2大分トリニータと連携し、アカウントの相互フォローやマスコットキャラクターを活用した投稿を実施するなど、今後もフォロワー獲得に努めていく。</p>													
① スポーツ 施設	大分県立庄内屋内競技場 (H31.4.1~R6.3.31)	教育庁	由布市	所管課評価	8/15	15/25		9/15	10/15	9/15	15/15	66	C
				部会評価	8/15	15/25		9/15	10/15	9/15	15/15	66	C
<p>【評価】</p> <p>1. 特定の用途に特化した施設であるが、そこに強みがある。県の誇れる施設であることを発信してほしい。</p> <p>【意見】</p> <p>1. アンケートの取得数が少ない。イベント時に来場者から取得するなど工夫の余地がある。利用者の意見を現地でヒアリングしているのであれば、それを記録してアンケート結果としても良い。アンケート用紙で回収する、という形式に捉われる必要はない。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. アンケートの回収率が極めて低い中、利用者満足度を計画どおりと判断することは適切なのか。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 主催したイベント終了時にもアンケートを実施するなど、利用者の意見を聞き、施設の運営に活かしていく。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 今後は、利用者等の意見を記録する他、イベント時のアンケートの実施など、利用者の声が拾えるように努めていく。</p>													

1 総括評価(5段階評価(指定期間最終年度))<続き>

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価段階	評価項目(得点/配点)						合計 得点	評価 ランク		
				所管課評価 部会評価	目標指標等 設置目的の達成	利用者の 満足度	定性的な目標 の達成	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等連携			平等利用 安全・危機管理	
③ 港湾施設・公営 住宅	別府港機械管理駐車場・県 営3号上屋・石垣地区緑地 (H31.4.1～R6.3.31)	土木建築部	(株)おおいた観 光サービス	所管課評価	9/15	9/15	6/10	8/15	9/15	11/15	15/15	67	C	
				部会評価	9/15	9/15	6/10	8/15	9/15	11/15	15/15	67	C	
				評価結果及び指定管理者評価部会の意見										
				<p>【評価】</p> <p>1. eスポーツのイベントで十分な集客があり、可能性のある施設だと感じた。10万人を超える年間利用者数は評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. HPがスマホ対応されておらず、施設の情報に中々たどり着けない。レトロな雰囲気など施設特有の強みがあるので、情報発信のやり方を工夫して新たなイベントを誘致してほしい。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. イベント参加人数が目標値に達成していない中、広告費の削減は経費の低減として評価できないのではないか。目標を達成する上で、必要となる経費は使うべき。</p> <p>2. 現在の施設名ではイベント会場として活用されていることがわかりにくい。施設名をイベント会場とわかりやすいものに変更してほしい。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 現指定管理者へHPがスマホ対応となるよう依頼している。また、今年度新たに「アートフェア」を開催するなど新しいイベントの誘致に成功しているため、今後も継続して誘致することを期待したい。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 指定管理者の収支を分析し、目標の達成に必要な経費であると認められるものについては低減の評価対象から除く等の区別をしていきたい。</p> <p>2. 他施設の事例を参考に、イベント会場としてわかりやすい愛称とし、周知を図っていきたい。</p>										

1 総括評価(5段階評価(指定期間最終年度))<続き>

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価段階	評価項目(得点/配点)						合計 得点	評価 ランク		
				所管課評価 部会評価	目標指標等 設置目的の達成	利用者の 満足度	定性的な目標 の達成	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等連携			平等利用 安全・危機管理	
③ 港湾施設・公営 住宅	大分港大在コンテナターミナル (H31.4.1~R6.3.31)	土木建築部	(株)大分国際 貿易センター	所管課評価	7/15	10/15	6/10	9/15	12/15	9/15	15/15	68	C	
				部会評価	7/15	13/15 ↑	8/10 ↑	9/15	15/15 ↑	9/15	15/15	76 ↑	C	
				評価結果及び指定管理者評価部会の意見										
				<p>【評価】</p> <p>1. 近隣の港との競争が激化していく中、約7万TEUのコンテナ取扱量を維持していることや、指定期間中に安全管理率100%を達成し続けていることは高く評価できる。</p> <p>2. 前指定期間と比べて収入額が29.2%増加したことは高く評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 全ての企業訪問を対面で行っているが、アフターフォロー含めWEB会議を活用して効率的に行ってみてはどうか。</p> <p>2. 経費の低減として再生紙の使用を評価しているが、この他に取り組みはないのか。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 地場企業を対象に企業訪問を行っているが、商社が輸送ルートを決めていることを踏まえると、その効果は乏しい。訪問対象の見直しなど、有効な手段を模索すべき。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. ポートセールスを目的とした企業訪問は、企業誘致と同様に、他港湾との競争のなかでいかに大分港の優位性を理解してもらうかということがポイントになる。このため、一義的には直接対面にて売り込むことが重要であると考え、意見の趣旨も踏まえ、研究・検討することとした。</p> <p>2. 再生紙(裏面使用)の使用以外にも、警備委託については、改めて見積合わせを行うとともに、それまでの1年ごとの自動更新の契約から5年間の契約に見直した。引き続き、可能な範囲において最大限、経費の低減に努めていく。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 取扱貨物量増加のため、大在コンテナターミナルの利用促進を目的に例年県内外で開催しているセミナーに参加した商社等への企業訪問にも努めていく。</p>										

1 総括評価(5段階評価(指定期間最終年度))<続き>

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価段階	評価項目(得点/配点)						合計 得点	評価 ランク		
				所管課評価 部会評価	目標指標等 設置目的の達成	利用者の 満足度	定性的な目標 の達成	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等連携			平等利用 安全・危機管理	
④ 文化・コ ンベン ション施 設	大分県立別府コンベンション センター (H31.4.1~R6.3.31)	商工観光労 働部	ビーコンプラザ 共同事業体	評価結果及び指定管理者評価部会の意見										
				所管課評価	9/15	14/15	6/10	15/15	9/15	12/15	15/15	80	B	
				部会評価	9/15	14/15	6/10	15/15	9/15	12/15	15/15	80	B	
				<p>【評価】</p> <p>1. コロナ禍で催事の開催が難しい中、令和4年度に利用者数を大幅に回復させたことは評価できる。</p> <p>2. 県外から人を呼び込むために、多くの自主事業にチャレンジしたことは高く評価できる。今後も継続してほしい。</p> <p>【意見】</p> <p>1. テーマを持ったイベントに対し、更にもう一つ、付加価値を高める工夫が必要。(例：マーチング×楽器屋による楽器販売、各種イベントにパンフェスを同時開催する、など)</p> <p>2. グローバルタワーからの景観など、ここでしか体験できない部分にポテンシャルがある。施設の強みを活かした企画を考えてほしい。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 電気代が高騰する中、省エネに取り組んでいない。太陽光パネルの設置なども含め検討してほしい。</p> <p>2. 集客施設であることを鑑みると、コンベンションだけに固執するのではなく、イベントがない平常時でも人が集まる場となることはPRとしても必要。民間との連携も含めて検討し、また施設の使用用途を制限せず運営側のノウハウが最大限に活用できる環境を整備してほしい。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 評価部会でのアドバイスに基づいて、自主事業「別府ビーコン夏祭り2023」でイベント複合化のトライアルを実施致した。8/19(土)にコンベンションホールで「リアル恐竜ショー」が予定されていたため、夏祭りテーマを「恐竜と遊ぼう」とし、ステージイベントのキッズダンスやジャズの演奏、芝居にも恐竜の要素を取り入れた。更にステージ周りには飲食ブース(特別恐竜食を販売するブースも登場)、東エントランスでは恐竜のイラスト塗り絵コーナーなど夏休みの子供たちが楽しめるワークショップ、芝広場にはキッチンカーと盛りだくさんの仕掛けを行い、4,000人ほどの入場者数となり大成功となった。この結果を受け、イベント複合化の第2弾として12月2日に開催するおんせん演劇祭の日に「パン祭り」を実施することとし、店舗への協力要請を始めている。</p> <p>2. メインエントランスを利用したビーコンプラザ魅力発信企画として、「プロジェクションマッピング」を実現したく、本年度より数度実証実験を行い、配線工事や投影実験も終了している。夏場はなかなか空間が暗くならないため実施はクリスマスシーズンを考えている。またグローバルタワー展望台での特別な企画については、評価部会でアイデアを頂いたオリジナルドリンク、オリジナルグッズの販売も含め、シーズンごとに変わる映像や音楽による特別演出や貸し切りによるナイトテーブル等の企画もあがっており、関連事業者と協議しながらビーコンプラザの新しい価値創造として、別府の新観光スポットとなるよう実現に向かっていきたい。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 太陽光パネルの設置については費用対効果や県のそのほかの施設の状況、県の省エネへの取組内容をみたくうえで対応したい。また、照明のLED化など計画的に省エネに向けた改修を進める。</p> <p>2. 全国のコンベンション施設やイベントホールの情報収集を行い、平常時でも利用しやすい環境整備・制度作りを検討する。</p>										

1 総括評価(5段階評価(指定期間最終年度))<続き>

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価段階	評価項目(得点/配点)						合計 得点	評価 ランク	
				所管課評価 部会評価	目標指標等 設置目的の達成	利用者の 満足度	定性的な目標 の達成	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等連携			平等利用 安全・危機管理
⑥ レクリ エーショ ン施設	大分県長者原園地 (R3.4.1~R6.3.31)	生活環境部	吉武建設(株)	所管課評価	22/25	13/15		15/15	15/15	15/15	15/15	95	A
				部会評価	22/25	13/15		15/15	15/15	15/15	15/15	95	A
【評価】													
1. 利用者の視点(特に女性)に立った配慮(トイレの改修等)は高く評価できる。他の類似施設の模範となる施設と言える。													
2. 親密度の高いリピーターが増えているのは、施設だけでなく指定管理者の日頃の努力や魅力による所であり、高く評価できる。													
⑥ レクリ エーショ ン施設	大分県青少年の森 大分県平成森林公園 大分県神角寺展望の丘 (H31.4.1~R6.3.31)	農林水産部	(公財)森林ネット おおいた	所管課評価	28/40	15/15		15/15		15/15	15/15	88	B
				部会評価	28/40	12/15 ↓		15/15		15/15	15/15	85 ↓	B
【評価】													
1. マウンテンバイクのコースを開設し、積極的に集客したことは評価できる。また、広大な施設を常にきれいに管理していることを高く評価する。													
2. 少年自然の家を利用する小中学生に対するチラシの配布は保護者に情報が届き、とても良い取り組み。													
3. キャッシュレス決済の導入は、利用者の利便性向上の観点から評価できる。													
【意見】													
1. HPによる情報発信だけでなく、時代に応じて新たなPR(SNSの活用、リスティング広告など)を行うなど、認知度向上に向けてPRの工夫を工夫してほしい。													
【施設所管課に対する意見】													
1. 施設が広大であるため、それぞれのエリアごとに特徴を捉えて「PRしたいもの=ウリが何なのか」を整理する必要がある。例えば、マウンテンバイクコース開設が好影響なら、思い切ってその聖地にするといったブランディングを検討するなど。そうしたブランディングにより、それに応じた効果的なPRの仕方がみえてくるのでは。													
【対応案】													
1. インスタグラム等のSNSで写真・動画を中心に情報を得る若年層などの利用者を取り込むため、季節やイベント内容に応じて検索されるワードの設定を適宜変えながら、その検索ワードに興味がある者にインスタグラム広告を効果的に発信するなどの取組を行う予定である。													
【施設所管課に対する意見対応案】													
1. 青少年の森はサイクリング施設やマウンテンバイクコース、平成森林公園はキャンプ場やラベンダー園といった特色ある施設があり、また、各エリアでは季節ごとに桜や紅葉などの豊かな自然あふれるイベントの開催を行っている。県民の森が保健、休養及びレクリエーションの場として年間を通じて豊かな自然を楽しみ、森林に関する県民への理解を深めることができる一体的な施設であることのPRに加え、ブランディングにつながるエリアごとの特徴を活かして、サイクリングやマウンテンバイク、キャンプ・アウトドアイベントに関心のある層やファミリー向け、シニア向けなど、ターゲットに即した広報ツールを活用しながら積極的に広報したい。													

2 中間評価(5段階評価:指定期間2年度目)

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価段階	評価項目(得点/配点)						合計 得点	評価 ランク		
				所管課評価	目標指標等 設置目的の達成	利用者の 満足度	定性的な目標 の達成	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等連携			平等利用 安全・危機管理	
				部会評価	評価結果及び指定管理者評価部会の意見									
③港湾 施設・公 営住宅	県営住宅等 (R4.4.1~R9.3.31)	土木建築部	大分県住宅供 給公社	所管課評価	14/15	13/15	10/10	9/15	12/15	12/15	11/15	81	B	
				部会評価	14/15	13/15	10/10	9/15	12/15	12/15	11/15	81	B	
				【評価】	1. 所管課評価に異論なし。									
				【意見】	1. 間取り図だけでなく部屋の内装写真など、内見したくなる情報をHP掲載すべき。 2. 消防法で義務付けられている消防訓練等については、民間の模範となるよう積極的に実施してほしい。									
				【施設所管課に対する意見】	1. 市営住宅の管理受託は、公社が自主的に行っている事業であり、県営住宅等の評価シートに記載すべき事項ではない。									
				【対応案】	1. 部屋の内装写真等については、一部の募集住戸でHP掲載を行っているが、引き続き募集住戸への掲載を順次進めていく。 2. 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ここ数年は入居者が集合して行う訓練が困難な状況となっていたが、所轄消防署や地元自治会等と連携し、訓練内容の向上を図りながら消防訓練を実施していく。									
				【施設所管課に対する意見対応案】	1. 市営住宅の管理受託については、県営住宅との一体的・効率的な管理や募集等における利便性の向上と関連することから、これまで評価シートに記載してきたところであるが、定性的な目標の見直しを含めて検討したい。									

3 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
① スポーツ 施設	大分県リバーパーク犬飼 (R2.4.1～R5.3.31)	土木建築部	(株)Goap	<p>【評価】</p> <p>1. 多目的グラウンドの芝管理が行き届いている点が評価できる。専門知識を有した民間企業に管理を委託することで施設が格段に改善されており、指定管理制度の成功事例といえる。</p> <p>2. トウモロコシ狩りや軽トラ市など、アクティビティの幅を広げている点が評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. まだまだ可能性のある施設なので、引き続きアクティビティの幅を広げてほしい。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 指定管理者及び市と引き続き連携し、多目的グラウンドや大野川を活用したアクティビティの拡充に取り組んでいく。</p>
	大洲総合運動公園 大分県立フェンシング場 (R2.4.1～R5.3.31)	土木建築部 教育庁	ファビルス・プランニング大分 共同事業体	<p>【評価】</p> <p>1. 施設予約システムと連動したアンケートの実施により、回収率を増加させたことは高く評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. SNSによる情報発信を業務の一つとして位置付け、時間を確保した上で対応すべき。(空き時間に対応するのではなく、広報戦略の一つとして組織的に取り組むべき。)</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. フェンシング場で行っている自主事業(ダンス等)は、施設の特性を活かした利用拡大の取り組みであり、これによる3,000人超の利用者数増は評価すべき実績と考える。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. SNSによる情報発信を業務の一つとして位置付け、時間を確保した上で、各担当者による情報発信に努めていく。インスタグラムについては、大洲総合運動公園と一体として運営している「サイクルショップコダマ大洲アリーナ」(大分市所有)のアカウントと相互に関連情報を掲載するなど、効率的に相乗効果をもたらす運用をしていく。また、予約システムに組み込まれたメールサービス(大洲インフォメーションサービス)では、イベント開催や天候・施設整備に伴う利用制限等の利用者・現場に密着したさらに幅広い情報発信をめざす。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 指定管理者が行っている自主事業(健康教室等)の健康教室の取組は利用者から好評を得ており、健康教室の回数を増やしてほしいという利用者の意見もある。一般のフェンシング競技での利用とともに施設の稼働率を高める取組として更なる充実を図る。</p>

3 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)＜続き＞

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
② 農林業 振興施設	大分農業文化公園 大分県都市農村交流研修館 (R3.4.1～R8.3.31)	農林水産部	(公社)大分県 農業農村振興 公社	<p>【評価】</p> <ol style="list-style-type: none"> 2年半という短期間の中で、4,000人を超えるInstagramのフォロワー数を獲得している点が高く評価できる。 アンケート回収率を向上させるためにインセンティブ（ネモフィラの無料摘み取り体験など）をつけた取組みは効果的で、他の施設に共有できるノウハウと評価する。 <p>【意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 来場者アンケートの中で、施設に関する情報取得媒体を問う項目があるが、SNSと一括りにせずアプリに応じて区分すべき。効果の低い媒体を廃止するなど、今後の業務効率化に役立てることができる。（適宜見直しを行い、目的をもったアンケート項目にすべき。） 人が集まる認知度の高い施設となったことで、原点である「農業文化」に取り組むチャンスがきている。農業振興に着目したイベントの開催を検討してほしい。 SNSを活用した広報戦略で成果をあげている状況なので、これが継続できる体制を確保すべき。属人的な業務とならないよう、アカウントの管理や人材育成（後継者の育成）をしてほしい。 <p>【対応案】</p> <ol style="list-style-type: none"> アンケートで「インターネット(HP・SNS等)」となっている項目を、「HP」、「動画サイト(YouTube等)」、「Instagram」等に細分化し、効率的な情報発信に繋がるよう見直しを行う。 ネモフィラやコキアなど四季の花々の植付け体験や果樹の収穫体験を引き続き行っていか、自然観察やアウトドアに関するサービスを実施し、農業や自然に関する事業を充実させ、更なる来園者の増加や満足度向上を図る。 現在の発信力を維持・向上するため事務分掌の見直しを行い、二人体制で広報を行うことで後継者育成を図っていく。(令和5年10月から「農業」「アウトドア」で分類し実施)

3 所見評価(指定期間初年度、3~4年度目:文章による評価)＜続き＞

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
② 農林業 振興施設	大分県林業研修所 (R3.4.1~R8.3.31)	農林水産部	(公財)森林ネット おおいた	<p>【評価】</p> <p>1. 実技研修で民間の所有林を活用するなど、細かい工夫を積み重ねている点が評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 再委託業務の合理化(直営化)は重要であり評価できる取り組みだが、必ずしも経費節減だけが良いことではない。金額的な効果が高くないのであれば再委託をし、捻出された時間で、企画など指定管理者でなければできないことに注力すべき。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 林業従事者の増加に向けて、林業研修所の利用者を増やす施策に注力すべき。その際、マーケットを県内(県内事業者や林業・農業高校など)にとどめるのではなく、県外やUターン希望者など、幅広い視点からターゲットを選定し、的確にアプローチしてほしい。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 直営化による経費節減効果や対応時間の増等を総合的に判断したうえで、再委託を検討することとする。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 林業従事者の確保については、指定管理者と連携し、県外の就業フェアへの参加やUIターン希望者への就業相談などに取り組んでいるところ。今年度からは、都市部でのPR活動を強化するほか、新設した情報発信サイト(もりジョブおおいた)の活用推進を図ることで、更なる林業従事者の確保に努めていく。</p>
③ 港湾施設・公営 住宅	別府港北浜ヨットハーバー (R3.4.1~R8.3.31)	土木建築部	(株)ササキコー ポレーション	<p>【評価】</p> <p>1. 専門知識を有した指定管理者の管理に安定性が感じられる。</p> <p>2. UMIアカデミーは20年後の利用者獲得を見据えた取り組みであり、長期的なビジョンに立ち工夫している点は高く評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. UMIアカデミーで取得したアンケート結果も評価部会で報告すべき。事業実施にあたり良いヒントが得られることに加えて、評価する上でアピールにもなる。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. トイレの夜間利用や防犯カメラの設置に向けて検討を進めてほしい。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 今後の指定管理評価部会では、UMIアカデミーのアンケート結果について、報告することとする。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 防犯カメラの設置、トイレの夜間利用の順で導入、改善を進める。</p>

3 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)＜続き＞

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
④ 文化・コンベンション施設	大分県立総合文化センター 大分県立美術館 (H30.4.1～R5.3.31)	企画振興部	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団	<p>【評価】</p> <ol style="list-style-type: none"> アウトリーチを活発に行っていることは高く評価できる。コロナ禍だからこそ、アウトリーチを通して子供の感性を磨くことは効果的と考える。 コロナ禍にも関わらず、美術館来館者50万人の目標値を達成したことは高く評価できる。 <p>【意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 感性育成事業は子供たちにとって日頃体験できない良い取組み。他の学校にも広げてもらいたい。 展覧会に応じて、更にもう一つ、付加価値を高める工夫が必要。(例:デミタスカップ展の後に、良いデミタスカップでコーヒーが飲める等) <p>【施設所管課に対する意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設内の業務委託先などのノウハウや工夫が最大限活かせるよう、施設の制約や条件を可能な限り緩和できるように検討してほしい。 美術館のコンセプトは「五感で楽しむ美術館」であり、美術を鑑賞するだけでなく様々な活用があって良いのでは。1Fアトリウムなどは、付加的価値創出のポテンシャルがある場所でもあるため、利用に対しての柔軟な対応および活用を促進してほしい。 <p>【対応案】</p> <ol style="list-style-type: none"> 感性育成事業は、財団のコンセプトである音楽と美術を融合する特徴的な取組であり、引き続き実施するとともに、センター・美術館のアウトリーチにも反映して参りたい。また、センター及び美術館においては多様な教育普及活動を行っており、音楽のワークショップを受けた学校に美術のワークショップを案内するなど子どもたちが音楽と美術のどちらにも触れる機会が増えるような仕掛けを行っていききたい。 一人でも多く方にご来場いただけるように、観覧者の満足度を更に高める工夫を行っているところ。たとえば、朝倉展では、関連イベントとして、トークイベントや美術家の安部泰輔氏のワークショップ、ザ・キャビンカンパニー絵本読み語り会、コンテンポラリーダンサーの穴井豪のダンス・コンセントレーションなどを実施した。今後行われる展覧会においても、更に付加価値を高める工夫を行っていききたい。 <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <ol style="list-style-type: none"> 委託先等から施設の制約や条件に対しての相談があった場合には、内容を確認、検討していく。 展示室での展覧会のみではなく、OPAMという空間を活用して様々な取組をしていきたい。

3 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)＜続き＞

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
⑤ 社会福祉施設	大分県社会福祉介護研修センター (R3.4.1～R8.3.31)	福祉保健部	(社福)大分県 社会福祉協議会	<p>【評価】</p> <p>1. HPを見やすく構築している点が評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. HPにFacebookのロゴが掲載されているが、施設のアカウントにリンクされていないため改善すべき。</p> <p>2. 受講者の目線に立ち、研修の内容に応じてオンライン研修を上手く活用すべき。オンライン研修をファーストタッチとし、最終的に研修所に来てもらう流れが作れると良い。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 時代の潮流に併せて、モデル展示場のリニューアルに取り組んでほしい。研修センターのカリキュラムと連動させるなど、シナジー効果が得られる展示にできると良い。</p> <p>2. 太陽光パネルの設置に適した施設なので、導入を検討してほしい。高騰する電気料の削減だけでなく、災害時に避難場所としての活用も考えられる。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. Facebookについては、専用アカウントを設定し専用ページにリンクするよう対応中。なお、同時にご指摘のあったInstagramについてはリンクするよう対応済み。</p> <p>2. オンライン実施上の課題もあり、直ちに完全移行することは困難であるが、オンライン実施による利用者の利便性向上を図るため、実施可能な研修から順次対応していきたい。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 住宅展示場については、例えば高齢者相談業務担当職員研修等でのカリキュラムとの連動など研修とリンクした利活用も実施しているところ。また、Wi-Fi設置による利用者の利便性向上も図り、利用者は年々増加し、昨年は約1,500人の来場があった。今後の更なる有効活用等について、10月開催予定の「福祉用具専門部会」の意見も踏まえ、検討していきたい。</p> <p>2. 太陽光パネル設置に係る費用対効果や設置環境等を踏まえ研究していきたい。</p>

3 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)＜続き＞

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
⑤ 社会福祉施設	大分県母子・父子福祉センター (R3.4.1～R8.3.31)	福祉保健部	(一財)大分県 母子寡婦福祉 連合会	<p>【評価】</p> <p>1. 限られた人員で、多くの相談件数を対応していることは評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 新型コロナウイルスの影響により、夏季期間の施設一般開放を中止しているが、有効な取り組みであるため再開すべき。母子・父子家庭の子供が利用できるよう、積極的な開放と利用促進に向けた声掛けに取り組んでほしい。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 光熱費の高騰は深刻な問題。現場の実態を把握し、適切に予算措置をすべき。</p> <p>2. 施設利用者の利便性等を考慮し場所を移転するといった選択肢もあると思われる。移転の可否を含め検討してほしい。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 施設開放は平成23年度から夏の節電対策として行ってきたが、近年は新型コロナの影響を考慮し中止していた。これまでの実施上の課題として、利用する和室が事務室から離れており、常時見守りによるこどもの安全確保が難しいことや物品破損の問題が生じていた。コロナの5類移行に伴い一般の施設利用申し込みの増加もあり、施設開放の再開については保留とし見直しを含め検討することとしたい。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 光熱費の高騰については、実態を確認し予算措置する。</p> <p>2. 施設利用者の利便性の観点で所在地の交通アクセスは重要な要素になるが、総合社会福祉会館は駐車場が無料であることや生活困窮者対策に取り組む県社会福祉協議会との連携が図れる等、総合社会福祉会館内に設置する利点もある。また、相談は来所よりも電話・メールが7割以上を占めていることから、現在地での一層の活用促進を図りたい。なお、ご意見を踏まえ、来館者アンケートなどで設置場所に関する利用者ニーズの把握に努めていく。</p>

3 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)＜続き＞

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
⑤ 社会福祉施設	大分県聴覚障害者センター (R3.4.1～R8.3.31)	福祉保健部	(社福)大分県聴覚障害者協会	<p>【評価】</p> <p>1. ブログの更新を毎日行い、積極的な情報を発信していることが評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. ブログやHPによる情報発信だけでなくSNSを有効に活用すべき。自ら情報を取りに行かなくても届く工夫が必要。(Twitterだけでなく他のSNSも活用すべき。)</p> <p>2. SNSの利用件数はアンケートの満足度と同等の意義がある。指定管理者からもっとアピールしてほしい。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 手話スター登録制度で聴覚障害者に対する理解を示すだけでなく、手話のできる人が誰なのかをわかるようにした方が良い。聴覚障害者に利用してもらえるよう、もう一歩進んだ制度にしてほしい。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 既存の会員向けメール配信やYouTube、X(旧Twitter)による発信を強化するとともに、新たにInstagramのアカウントを開設。各媒体の特徴を活かした情報発信を行うことで、利用者の情報アクセスに係るエンゲージメントの向上を図る。</p> <p>2. 機関誌へのQRコード挿入やHP上でのSNSリンク、イベントや各種講座など、さまざまな機会を通じてSNSの周知を行い、各媒体におけるフォロワー数の獲得を図る。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 聴覚障害者協会で講座を受講するなど、一定の基準に達した人には手話スターのマークとしてバッジやシールを配布することを検討中。</p>
	大分県身体障害者福祉センター (R3.4.1～R8.3.31)	福祉保健部	(社福)大分県社会福祉協議会	<p>【評価】</p> <p>1. ドローンサッカーやeスポーツをきっかけに、施設内で共生社会を実現している点が評価できる。</p> <p>2. 清掃が行き届いている点など、様々な所に気配り目配りがされており指定管理者の努力を感じる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. HPのデザインが長らく変更されておらず、今の時代に合っていないため、リニューアルした方が良い。</p> <p>2. 施設内の照明が暗く感じるため、LED照明を増やし経費を削減するとともに、CSを向上させてほしい。</p> <p>3. ドローンサッカーの設備を活用してアウトリーチを行い、最終的にはセンターを利用してもらうという流れを作してほしい。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 収入の増加と障害者利用者の増加が反比例する施設のため、評価の仕方を工夫してほしい。本来の目的に立ち返り、障害者の利用者数増加を評価すべき。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 既存のシステムを活用し、レイアウトの変更や機能追加を行うことで、利用者目線に立ったHPデザインに変更する。</p> <p>2. 一部の施設でLEDが使用されていないため、順次LED照明への切り替えを行い、経費の削減とCSの向上を図る。</p> <p>3. 施設や支援学校へのアウトリーチを実施し、ドローンサッカーの普及を図るとともに、センターの施設や各事業のPRを行い、センターの利用者獲得に繋げる。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 施設本来の設置目的に立ち返り、「障がい者の利用者数増加」に向けた取組みについて評価するよう、評価の仕方を改める。</p>

3 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)＜続き＞

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
⑥ レクリ エーショ ン施設	おおいた動物愛護センター ドッグラン・多目的広場 (R3.4.1～R8.3.31)	生活環境部	九州乳業(株)	<p>【評価】</p> <p>1. 目標指標11,000頭に対し、12,000頭を超える利用頭数は高く評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. アンケートで寄せられた要望や苦情に対して、検討状況や回答を掲示するなど、適切な方法で利用者に情報を提供すべき。</p> <p>2. 新規利用者の獲得に向けて、PRを工夫すべき。近隣にある指定管理者の直売所から情報発信するなど、県（施設）と指定管理者の双方でメリットがあるPRをしてほしい。</p> <p>3. 暑熱対策の工夫は評価できるが、雰囲気作りの観点が抜けている。緑の parasol を設置するなど、ビジュアル面の考慮が更なるリピーターの獲得に繋がる。</p> <p>4. 指定管理者の強みを活かし、ドッグフードやドッグトイなどの物販を施設内で推進すべき。物販の売り上げ向上が施設の価値を高め、更なる利用者の獲得に繋がる。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 意見箱の設置と意見に回答するための掲示板設置を検討する。</p> <p>2. 引き続き、指定管理者直売所にて実施しているポスターの掲示やチラシの配置等で情報発信していく。</p> <p>3. ドッグランの中に parasol を設置した場合、支柱に犬がぶつかる危険性があるため、ドッグラン周囲の柵に沿って parasol を設置し、効果を検証することを計画中。</p> <p>4. 取引予定のフードメーカーはすでに決定しており、現在は購入方法や購入時期等を調整中。また、同じメーカーでドッグトイの取扱があるかも確認中で、取扱がなければ、別のメーカーに依頼する予定。</p>
	ハーモニーパーク (R3.4.1～R8.3.31)	土木建築部	(株)サンリオエ ンターテイメン ト	<p>【評価】</p> <p>1. 新設した遊具の集客効果が高い印象。日頃足を運ばないエリアへの誘客に繋がっている点が評価できる。</p> <p>2. 新型コロナウイルスの影響で利用者数が落ち込む中、52万人を超える利用者の確保は指定管理者の努力による賜物。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 実証展示林の活用のみを検討するのではなく、指定管理者のノウハウを活かしたアクティビティの創出を検討してはどうか。県が主導して大きく変えていく必要がある。</p> <p>2. 指定管理エリアである県所有駐車場からハーモニーランドへのアプローチが坂道のため、アクセスの改善等を検討し、県と指定管理者の双方でメリットが得られるようにしてほしい。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 指定管理者とともにアクティビティの創出について議論を重ねているところであり、まずは実証展示林におけるサンリオキャラクターを活用した新たな遊具等の設置を計画している。</p> <p>2. ハードでのアクセス改善がコスト等に課題があることから、ハーモニーランドへの園路に、指定管理者の強みを活かすことができるキャラクターのフォトスポットやフットプリントの設置を検討している。県所有駐車場からの来園者にしか味わえない体験を提供することで、県と指定管理者双方のメリットにつながると考える。</p>

4 その他(全施設にかかる意見)

施設種別	施設名 (指定期間)	担当部局	指定管理者	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
全体	全体	総務部	-	<p>【意見（A部会）】</p> <p>1. 必要な経費を削ることは評価に値するものではない。経費の有効活用（最小限の経費で生産性を高めた等）を評価する視点をもつべき。</p> <p>2. SNS等を活用した情報発信は長年問題になっている。一方で、るるパークなどで成功事例があがっているので、勉強会等を開催し、指定管理者間で情報を共有すべき。</p> <p>【意見（B部会）】</p> <p>3. 「経費の低減」が評価点になっているが、委託料が固定されている中、諸物価等が高騰した場合、削れる所は人件費になってしまう。（評価されるために、ワーキングプアを作り出しかねない状況になっている。）安易な経費低減は経費の低減として評価しないよう徹底すべき。</p> <p>4. 物価や人件費が上がる中、指定管理料を5年間固定とすることは、指定管理者に負担を強いていることになる。物価高騰や人件費については、世の中の状況を踏まえ適切に支払うべき。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 評価項目を「経費の低減」から「効果的・効率的な経費の執行」に変更し、サービス水準の低下につながる安易な経費低減（施設の維持管理に必要な人件費の削減など）は評価しないことを指定管理者制度運用ガイドラインに明記する。</p> <p>2. るるパークの成功事例など、指定管理者間で情報共有等が行える勉強会を開催する予定。</p> <p>3. （項番1. で対応）</p> <p>4. 昨今の物価高騰を考慮し、令和4年度には不足する指定管理料の補填を行った。今後も世の中の動向を注視するとともに、指定管理者の状況を聞き取ることで、必要に応じて適切に指定管理料の見直しを行っていく。</p>